

これからの 治療と就業生活の 両立支援を考える 研究会

第1回

2017
SUN 12 / 03

無料 13:30-16:30

会場 / ヒューリックホール &
ヒューリックカンファレンス

東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル
JR 総武線 浅草橋駅 (西口) より徒歩1分
都営浅草線 浅草橋駅 (A3 出口) より徒歩2分

近年、わが国においては、がんや難病をはじめとする様々な病気について、治療技術の進歩により、それらの病気を持ちながらも、一定の配慮があれば、就労可能な労働者が増加しています。政府も、一億総活躍社会の実現に向けて、治療と職業生活の両立支援（以下、両立支援）を積極的に推進しています。厚生労働省からは、2016年2月に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が公表されました。その結果、両立支援を進めるために、当事者を取り巻く関係機関の連携が進んできました。一方で、関係機関の連携が進むにつれ、色々な課題も見えてきました。特に、経営資源に限りのある中小企業においては、大企業以上に両立支援を進めにくい現状があります。そこで、当事者の方々や、両立支援に関わる様々な職種の方々が、これからの両立支援について共に考える場を設けたいと考え、研究会を企画しました。第1回目の今回は、テーマを「これからの両立支援における『連携』を考える」として、関係機関の連携の点から、両立支援を考えたいと思います。

これからの 両立支援における 「連携」 を考える

プログラム

研究班から：
研究班の活動から見えてきたこと
北里大学医学部公衆衛生学 教授 堤 明純

基調講演

障害年金の活用と関係機関の連携：
社会保険労務士の立場から
松山社会保険労務士事務所 代表 松山 純子

シンポジウム

産業保健総合支援センターの立場から
神奈川産業保健総合支援センター 所長 渡辺 哲

産業保健職の立場から
北里大学医学部公衆衛生学 講師 江口 尚
難病者等の就労を支える機関の立場から
神奈川障害者職業センター 所長 宮崎 哲治

当事者の立場から
一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会
代表理事 森 幸子

事務局 / 北里大学医学部公衆衛生学単位
(担当：江口 尚)

TEL:042-778-9352 FAX:042-778-9257

E-mail:syuroushien@gmail.com

事前登録制

[定員 50 名程度]

どなたでもご参加いただけます

研究会ホームページへ
[www.med.kitasato-u.ac.jp/
~publichealth/bs/](http://www.med.kitasato-u.ac.jp/~publichealth/bs/)

